



2015年4月のロータリーレートは1ドル=118円

2015年 地区大会は10/24～10/25

LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを 2014～15 RI会長 黄其光 Gary C.K.Huang (台北 RC)
 ふるさとを育み 世界平和へ 2014～15 2610地区カバナー 永田 義邦 (高岡 RC)
 多様性と団結力を活かして楽しく活動する ~みんなちがって みんないい 会長 宮永満祐美



例会便り

第782回
 富山電気ビル 4F
 富山西 金沢百万石 合同
 4/9 (木) 18:00~20:00
 出席率 26/37 70.27%

金沢百万石・富山西合同 “夜間例会と観桜会”

点 鐘 例会

「富山西クラブ所縁の地富山電気ビルディングについて1936年に開催された日満産業大博覧会に合わせて、当時の日本海電気（現在の北陸電力の前身）本社ビルとして1936年4月8日に竣工しました。外観にタイル張りが施された鉄筋コンクリート製で、地上5階地下1階の構造は1945年8月1日の富山大空襲の戦災にも耐え、建築当時の外観が現在も保たれているなど、1935年8月17日に竣工した富山県庁舎と並び昭和初期の富山の象徴となっています。かつては日本海側で3番目に開業したホテルも併設されており（ホテルは1974年に閉鎖）、第二次世界大戦後の1945年11月には進駐軍の富山司令部が設置（1952年6月廃止）、1951年5月1日に北陸電力が設立されてからは、その本店が置かれていました。」

点 鐘

-----懇親会-----



ご挨拶 富山西 RC 高柳美徳 会長： この前の金沢での歓迎の謝意と今回の歓迎や松川の桜見など

乾杯 金沢百万石 RC 宮永満祐美 会長

食事歓談から アトラクション 越中おわら節

ご挨拶 金沢百万石 RC 炭谷亮一 バストガバナー

中締め 富山西 RC

中尾哲雄 バストガバナー



全員でおわら節踊りの練習



中尾パストガバナーと谷伊津子
会員の合唱



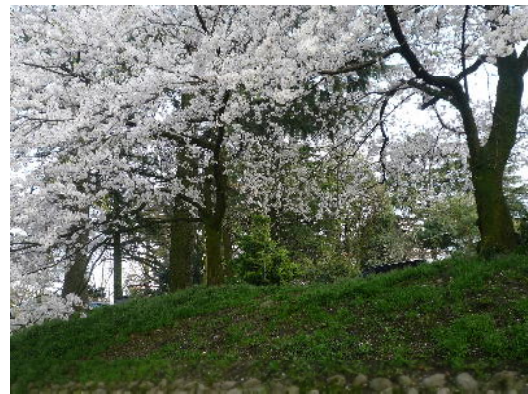
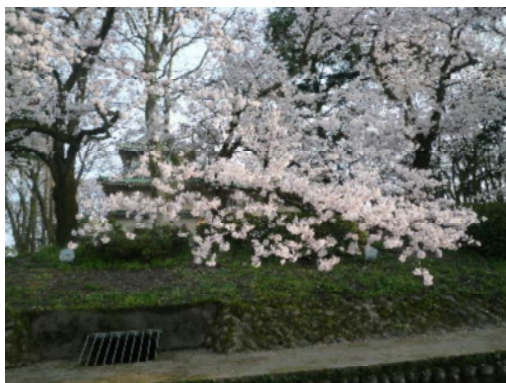
【例会の前に：お花見】



富山市「松川遊覧船」船上にてお花見（16時30分より所要時間約30分）

日本さくら名所100選の松川遊覧（富山観光遊覧船）
松川遊覧船は、富山観光遊覧船（株）が昭和63年（1988年）4月より、富山市中心部・城址公園横を流れる松川（旧神通川の名残り）で運航しています。

江戸初期から明治後期にかけて、最大の通商路として賑わった神通川の歴史を偲びながら、7つの橋をめぐる遊覧を楽しむことができました。松川の堤には460本のソメイヨシノが植えられており、桜のトンネルを遊覧船から楽しみました。





下船後 展望台に上がり立山連峰と富山市街の風景を楽しみました。



中尾哲雄パストガバナーについて

中尾氏は79歳で、3月31日に創業から携わったインテックの最高顧問を退任されました。今後は、4月1日付けで株式会社アイザック IZAK CO.,LTD.の非常勤取締役から取締役最高顧問に就任されました。

すてきな社長室を見学

参加者：石丸 幹夫 石丸 恭子 井口 千夏 岩倉 舟伊智 上杉 輝子 木場 紀子 金 沂秀 魏 賢任 藤 間 勘菊 宍戸 紀文 炭谷 亮一 谷 伊津子 布施 美枝子 宮永 満祐美 武藤 清秀 村田 祐一 村田 順子 (敬称略)

新幹線で富山駅におり、時間もあり富山市佐藤記念美術館を見学しました。



かつての佐藤工業会長であった佐藤助九郎氏が建物と所蔵品のすべてを富山市に寄贈されて出来たもので、貴重な茶室や収蔵作品がありました。

石丸幹夫

木曾御嶽噴火災害地への支援について

国際ロータリー地区ガバナー 殿
木曾御嶽噴火災害へのご協力のお願い
拝啓

皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのことと拝察致します。
さて当 2600 地区では、今期は南木曾での土砂流出、木曾御嶽山噴火、長野北部地震と三度の自然災害に見舞われました。いずれの地域も次第に日常を取り戻しつつありますが、地元の観光産業への長期的影響や風評被害が懸念されています。
木曾御嶽はすでに活動も弱まっており、スキー場、ゴルフ場、温泉などを含む周辺の観光地は以前どおり営業を再開しておりますが、以前の活気を取り戻すにはまだまだ相当の時間が必要です。そこで 2600 地区では、クラブの例会や会合、ゴルフコンペなどをできる限りこうした被災地に出向き、間接的な支援を行おうと実施されつつあります。近隣地区を除けば、遠方からお越しいただくのは大変ですが、全国のガバナーの方々にも同様の支援をお願い致したく、是非、月信等の記事として地域ロータリアンにお働きかけをしていただければ誠に幸いと思う次第です。ご参考までに、木曾より頂きました観光案内を同封させて頂きました。雄大な御嶽を望む開田高原や漆器の里、温泉などもあり、四季折々にお楽しみ頂けます。これからは本当に美しい季節を迎えます。どうぞお足をお運びくださいますよう重ねてお願い申し上げます。
なお、本件に関するお問い合わせは 2600 地区ガバナー事務所に、さらにご検討の際には、当該地区の木曾ロータリークラブがご案内、予約など便宜を図らせていただきますのでどうぞご利用ください。

敬具

2015 年 3 月 19 日
国際ロータリー第 2600 地区 ガバナー 中川 博司

お問い合わせ先
木曾ロータリークラブ Tel : 0264 - 52 - 4812 E - mail : Kiso.r.c@yama-in.co.jp
中川博司ガバナー事務所 恥 1 : 0265 ・ 73 ・ 2600 E - mail : nakagawa-g@triton.ocn.ne.jp

ガバナー 永田 義邦

木曾御嶽噴火災害地への支援について

拝啓 春暖の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃は地区ロータリー活動にご協力を頂き、感謝申し上げます。
さて、標題につきまして RID.2600 中川博司ガバナーより被災地への支援お願い(別紙)がまいりました。
文書にありますように、地元観光産業への長期的影響や風評被害を懸念されておられますので皆様の間接的なご支援としてご来訪等、ご検討頂きますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

バストガバナーからの手紙 216 回

「藻から原油を」 炭谷 亮一

数年前ある科学雑誌に日本で藻から原油をつくる研究が進められていることを知った。当時私はええ一化石燃料である原油を数万年から数億年の時空を一挙に飛び越えて植物から直接原油を回収するなんてまさに神業だなどの感想を持ったものである。

日本と米国で研究は進められており、課題は生産コストの問題だ。

原油を産む植物は、ボトリオコッカス・ブラウニーという藻である。温帯から熱帯の淡水であればどこにでも見られる藻の一種で、大きさは 10 ~ 20 マイクロメートルととても小さいので微細藻類とも呼ばれる。緑色をした単細胞生物だ。

ではこのボトリオコッカス・ブラウニーがなぜ原油をつくるのかはわからないことが多い様だが、一説には油が水に浮かぶ現象を利用して水面に浮かび上がり、太陽の光をより多く浴びて光合成を有利に進める生存戦略ではないかとも言われている。

石油資源を海外に頼る日本にとって願ったりかなったりの「バイオ燃料」と言える。そして新たなエネルギー資源としてだけでなく、光合成でつくられた原油はカーボンニュートラルつまり「排出される二酸化炭素量」と「吸収される二酸化炭素量」が同じであり、環境にやさしいバイオ燃料であり、世界的に見ても持続可能エネルギー源として期待されている。

問題点はボトリオコッカス・ブラウニーをいかにスピード増殖させ、その結果つくられる原油をいかに容易に低コストでの回収方法が課題であった。

日本では 2010 年に 7 人の研究者と 15 の法人からなる一般社団法人が設立され、更に 2011 年には IHI などを中心となって合同会社が設立され、課題解決に向けて研究開発が行われている。
 安倍政権においても「科学技術イノベーション総合戦略 2014」において「微細藻類由来の燃料製造技術開発」が重要施策の一つとして掲げられており、コストダウン・実用化に向け国は強力に支援する方向だ。
 現在は研究も進み、米国は増殖スピードの発展よりも広大な土地を利用して低コスト化を目指している一方、日本では土地の狭さを勘案して藻を通常の 1000 倍ものスピードで増殖出来る技術を開発し又東大の研究グループが、従来の過熱乾燥が必要であった抽出過程を改良し、有機溶媒で直接原油を抽出する方法を開発した。
 これらにより日本の研究では、生産コストは 1 リットル 500 円まで下がって来た。2020 年までには 1 リットル 100 円（現在の科学燃料と同価格）まで出来る可能性が大である。そして世界の市場規模は数千億円になると予想されている。

日本は劣資源国であるが、豊富な人材を使って研究開発を進めれば、持続可能な永遠のエネルギーを手にすること（藻から抽出の原油、水素による発電、メタンハイドレードからの天然ガス、核融合による永遠のエネルギー）が出来る、資源大国になる可能性すら秘めている。

いやそれにしてもアメリカのいつもながらの「深謀遠慮」におどろかされる。現在のアメリカ大陸は原油と天然ガスの上に浮いているととえられる位に天然資源は豊富（100年から200年の埋蔵量があると言われている）にもかかわらず、常に世界のほとんどすべての最先端の科学技術分野に目くばりし、他国より 1 歩先んじ様としている姿勢に敬意を表したい。

3月2日の新聞記事によれば、日本のバイオベンチャーのユーグレナは航空機向けバイオ燃料の精製プラントを国内に建設する。米石油大手シェブロンから技術供与を受け、2018年までの稼働を目指す。いやこの新聞記事に驚かされた。「藻からバイオ燃料」を取り出す為の精製がまさに開始され様としている。（こちらは「ミドリムシ」という和名で広く知られている淡水性真核微生物）。

オイルを産生する藻類には「ボトリオコッカス」「ミドリムシ」「オーランチキトリウム」「イカダモ」「シュードコリスティス」「ナンノクロロプシス」等が存在する。

ここで言う原油とは、トリグリセリドや石油系の炭化水素で、炭化水素は化石燃料の主成分でもある。藻類の原油は、単に代替エネルギーとしてだけでなく、地球温暖化対策としても注目されている。

航空業界では、国際航空運送協会（IATA）が1920年から二酸化炭素の排出量に上限を設ける行動計画を策定している。実現には植物を原料とするバイオ燃料を従来のジェット燃料に一部混ぜることが不可欠とされており、航空各社が導入準備を進めている。

航空機向けのバイオ燃料精製プラントは、アメリカでは商業プラント建設の計画が進んでいる（他の植物例えば大豆、トウモロコシからエタノール等のバイオ燃料は精製されるが、多分オクタン価が低い為航空燃料に適さないと思われる）。

韓国 RI 37610 地区より 地区大会の御案内

永田義邦ガバナ様、

貴下のご健勝と貴地区のご発展をお祈り申し上げます。添付の通り 3710 地区大会を開催いたします。ご多用の中誠に恐縮でございますが、是非ご臨席賜りたく謹んでご案内申し上げます。

3710 地区 総裁 金光泰

*祝辞は 4 月 23 日までお頼みいたします。

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2014-15 年度 R I 3710 地区大会を 2015 年 5 月 8 日 - 9 日開催いたします。先ず下記の日程をご案内いたします。ご多用の中ご臨席を賜れば幸甚でございます。

日 時：第 1 日 2015 年 5 月 8 日（金）
 1 次本会議 14：00 — 18：00 時

18：30 R I 会長代理歓迎晩餐会

第 2 日 2015 年 5 月 9 日（土）
 2 次本会議 9：00 — 17：00 時

場 所：第 1 日 新陽パーク Hotel

第 2 日 朝鮮大学校 Haeorum 館

*登録料はありません。HTL と食事は当方で提供いたします。

第 3710 地区 総裁 金光泰

クラブ例会予定 2014-2015 年度

4/9 富山西 RC 合同例会

4/16 村本 睦戸様 ホロデックス代表

4/23 丸谷 彩宥美様
 NPO 法人 ワークライフバランス代表

4/30 休会

5/7 菅野 啓太様 (株)リオンスターズ

5/14 小谷内 陽平様
 メイク・ア・ウィッシュオブジヤパン北陸支部長

5/21 オープンロータリー

5/28 振替休会

6//4 洲崎 邦郎様

6/11 横山 方子様

6/18 クラブフォーラム

6/25 振替休会



美しい花の季節

チューリップ

桜

桃

八重桜

木蓮

撮影 石丸 宍戸



水面に映える夜桜 宍戸紀会員



2014～15 役員・理事・委員会

(役員) 会長：宮永満祐美 エグゼクティブ：魏賢任 副会長：若狭豊 幹事：井口千夏 副幹事：大路孝之
会計：上杉輝子 SAA：宍戸紀文 直前会長 野城 勲

(理事) 理事：二木秀樹 北山吉明 金沂秀 藤間勘菊 西村邦雄 武藤清秀

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事岩倉舟伊智 監査：後出博敏

(委員会) クラブ管理運営委員長：二木秀樹 副：東海林也令子 親睦：○武藤清秀 辰己クミ 水野陽子

金沂秀 川きみよ 上杉輝子 吉田昭生 杵屋喜三以満 魏賢任 大路孝之 高田重男

例会：(プログラム) ○東海林也令子 宍戸紀文 川きみよ 吉田昭生 (出席) 野城 勲 藤間勘菊

SAA：○宍戸紀文 稲山訓央 ニコニコ：○稲山訓央 若狭豊 友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 江守巧

富山西 RC との交流岩倉舟伊智 木場紀子 金沢北 RC との合同例会二木秀樹 杵屋喜三以満 高崎 RC との交流村田祐一

金沂秀 藤間勘菊 直前委員長：西村邦雄

奉仕プロジェクト委員長：北山吉明 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 二木秀樹 大路孝之 稲山訓央

村田祐一 谷伊津子 社会：○村田祐一 谷伊津子 北山吉明 '新世代・青少年' ○北山吉明

国際：○西村邦雄 世界社会奉仕 (R財団) 西村邦雄 ラオス支援 魏賢任 藤間勘菊 描き損じハガキ 江守道子

米山奨学会 木場紀子 奨学生の世話大路孝之 (カウンセラー) 野城 勲 青少年奉仕 国際青少年交換上杉輝子

ロータリー研究會稲山訓央 上杉輝子 直前委員長：木場紀子

会員組織委員長：金沂秀 副：江守巧 会員増強：○金沂秀 岩倉舟伊智 武藤清秀 宍戸紀文

川きみよ 稲山訓央 大路孝之 修練 前期石丸幹夫 藤間勘菊 後期木場紀子 江守巧

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：石丸幹夫 広報：藤間勘菊 吉田昭生 ロータリー情報：炭谷亮一 石丸幹夫

会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 村田祐一

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、クラブ奉仕部門Bカウンセラー 炭谷亮一

社会奉仕委員会委員長 ロータリーとふるさとを考える委員会委員 谷伊津子

地区監査委員会委員長 後出博敏 R米山奨学会委員会副委員長 藤間勘菊

友情交換委員会委員 宮永満祐美

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒 920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒 920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00 ~ 15:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00 木 15:00 ~ 20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 井口千夏